

☆校長雑感☆

第7回「私の“七つ道具”」

「ある事をするのに必要なひとそろいの道具」のことを「七つ道具」といいます。要するに、自分がよく使う物、ということで、別にきっちり7つなくてもよいようです。

みなさんには、そういう“七つ道具”がありますか。今回は、私がよく使う4つの“七つ道具”を紹介します。



↑左から指サック、ペン、名刺入れ

その4つの物とは、右の写真に写っている「指サック」「ペン」「名刺入れ」の3つと、この写真を撮った「カメラ」の合計4つです。1つずつ紹介します。

①カメラ

昔ながらのデジカメで、実は学校にいる間ほぼいつもポケットに入れて持っています。生徒のみなさんの授業中の様子など、ふと撮っておこうと思ったとき、すぐ写真を撮ります。デジカメなのは、ポケットにも入るコンパクトサイズだからです。

②指サック

これは、紙を配るときなど必要となるときのみ指にはめます。私は、指の脂あぶらが少ないためか、指サックがないとプリントなどを配るのに苦勞します。汚い話ですみませんが、若い頃は、生徒にプリントを配るとき、親指をちょっとなめて配っていました。あるとき、「先生、それ、汚いっ!」と指摘されました。そのときは一瞬ムツとしましたが、よく考えたら「確かに汚いなあ」と思い、それからは配るときは必ず指サックを着けるようにしました。もっと言うと、配る物がなくても授業に行くときはいつも着けるまでになり、ほとんど体の一部となっていた時期もありました。

③ペン

いつもワイシャツのポケットに差しています。本当は、自宅から出るときすでに3色ペンを差しているので、それで用は足りるのですが、なぜか学校に着いたら、写真のように、青ペン、シャーペン、赤ペンの3本をさらに差すのが日課です。それなのに、校長室の席で書き物をするときは、ポケットに差しているペンはほとんど使わず、机の上のペン立てに入れているペンやシャーペンを使う、という何だかよくわからない使い方をしています。あえて言うなら、授業で教室に行ったときにポケットのペンなどを使っていた名残なごりなのかもしれませんね。

④名刺入れ

名刺入れは校長を務めさせていただくようになってから、使うことが格段にふえました。来校されるお客様などに私の名刺をお渡ししたり、お客様からいただいたりします。私は本校に赴任ふにんして1年半がたちましたが、数えたら、この1年半で92枚の名刺をお客様からいただいていた。



今回は私の“七つ道具”をご紹介します。みなさんも、自分がよく使う物のことをときには考えて、さらに大切にしてみてください。